

見つけよう防災の種

前回に引き続き、チームクロスロード制作（京都大学矢守克也教授、慶応義塾大学吉川肇子教授、産業技術大学院大学綱代剛助教授）によるカードゲーム「クロスロード」を経験してみましょう。今回は10問を経験しましたね。その続き11問目からのスタートです。今回もそれぞれの場面で「もしもあなたが何々だったら」と設定のもと、お考えください。

過去の災害では、専門職の方や市民が多くの問題対応を迫られました。それらをあなた自身に置き換えて災害対応を行っていきましょう。ではスタートします。

【第11問】あなたは市民。自宅で大地震に遭遇。津波が10分後に来るという。近所には独り暮らしの高齢者がいる。あなたは様子を見に行きますか？

A.見に行く B.見に行かない



【第12問】あなたは市民。超大型の台風が接近。暴風雨警報が発令され、市から避難勧告がでた。雨風も強くなったので近くの小学校に避難をしたい。でも付き合いはないが、隣に住む高齢者が気になる。高齢者の子供夫婦が近所に住んでいると聞いているが、子供夫婦とも面識がない。隣の高齢者に「一緒に避難しよう」と声を掛ける？

A.声を掛ける B.声を掛けない



【第13問】あなたは市民。大きな地震が発生し、避難所が避難住民で溢れている。避難所に入りきれなかった住民から「隣町住民は、隣町の避難所に行きたい」という苦情を受けた。隣町住民に「隣町避難所に移って」と言う？

A.言う B.言わない



【第14問】あなたは消防隊員。大地震直後、ようやく1箇所の消火を終えて、命令指示に従って次の出火地点に移動中だ。ところが住民がやってきて、近くの火事を消して欲しいと腕を引っ張る。確かに炎は見えるが命令も重要。あなたは先に住民の要請に応じますか？

A.要請に応じる B.要請に応じない



【第15問】あなたは消防隊員。大地震直後から消防署に、救急搬送を求める負傷者や救助を求める市民が殺到。管内ではそれ以外大きな被害報告は出ていない。駆け込み要請の順番で出動させますか？

A.出動させる B.出動させない



【第16問】あなたは報道関係者。大地震発生からこの1ヶ月間、毎日大幅に紙面を割いて被災地報道を続けてきた。しかしつい先程、別の地域で大事件が発生したとのこと。一面の記事を被災地報道から新しい大事件報道に差し替えますか？

A.差し替える B.差し替えない



【第17問】あなたは報道取材の照明係。地震発生後から被災地で取材中、夜になり現場が暗くなった。すると救助をしていた市民から取材用ライトを貸してくれと言われた。あなたはライトを貸しますか？

A.ライトを貸す B.ライトを貸さない



【第18問】あなたは市職員。40km離れた町で大地震が発生。未曾有な被害。市職員は「にぎり飯」を作って届けようと呼びかけた。早朝にもかかわらず、沢山の「にぎり飯」の持ち込みがあった。それらを積み込み、出発の時、上司が来て「このにぎり飯で食中毒が出たら誰が責任取るんだ」と。あなたは上司の言葉でにぎり飯を持って行きますか？

A.持っていく B.持っていけない



【第19問】あなたは避難所担当の市職員。援助物資の古着が大量に余った。他の避難所でも古着は必要ないと。引き取り手もない。倉庫を借りるのも費用がかかる。いっそ古着は焼いてしまおうと思いませんか？

A.焼いてしまう B.焼かない



【第20問】あなたは市民。家族4人暮らし。激しい雨が降り続く。今、洪水の危険があるとして町に避難勧告が出た。現在時刻は深夜0時。今すぐ避難をする？

A.すぐに避難する B.しばらく様子を見る

【第21問】あなたは市民。10分前に大地震が発生。大津波警報が発令。ラジオから30分位で第一波が到達するとのこと。90才のおばあちゃんが見当たらないという。あなたは探しに戻りますか？

A.探しに戻る B.探しに戻らない



【第22問】あなたは市民。大地震後、余震が続くが避難所は安全とのこと。しかし、このところの寒さで風邪が大流行。幼い我が子に風邪がうつるのが心配。お医者さんの診察も受けられるかどうか判らない。あなたは避難所を出て半壊状態の自宅に戻るか？

A.自宅に戻る B.自宅には戻らない



【第23問】あなたは受験生。避難所では人手が足りず、仕事を手伝う毎日。若くて体力があるので、とても感謝されている。でも勉強には手がつけられず、このままでは合格できないかもしれない。あなたは避難所の手伝いをやめ勉強に専念する？

A.勉強に専念 B.手伝いを続ける



【第24問】あなた自身。防災には近所付き合いが大切だと言われている。「あいさつ運動・挨拶をしよう」と呼びかけがある。昔から挨拶をするのが非常に苦手。挨拶が防災にどう役立つのかも判らない。あなたは挨拶をしますか？

A.する B.しない



2回に渡りクロスロードを一部ご紹介させて頂きました。災害時には多くの問題に知恵を絞り「可能な対策」がされました。あなたも身の回りで起こることを想定し「守るべきもの」について考えてみませんか？